

日本学術振興会研究拠点形成事業 JSPS Core-to-Core Program

令和8(2026)年度分 募集要項

<令和 7(2025)年度分募集要項からの主な変更点>

(1) 募集要項

審査方針に下記下線部を追記しました。

A. 先端拠点形成型(募集要項 4 ページ目)

①【先端性・重要性】

- ・当該学術分野において先端的と認められる研究課題であるか。
- ・相手国拠点機関と研究交流を行う必要性・重要性が明確であるか。
- ・日本側拠点機関と相手国拠点機関の交流により、世界的水準の国際研究交流拠点となりうるような学術的価値の高い成果が期待できるか。
- ・これまでの国際研究交流活動及び研究実績を活かし、それを発展的に展開するものであるか。ただし、過去に採択された課題を継承する研究課題については、引き続き支援する必要性が明確であるか。

B. アジア・アフリカ学術基盤形成型(募集要項 7 ページ目)

①【重要性・必要性】

- ・アジア・アフリカ地域に特有、又は同地域において特に重要と認められる研究課題であり、かつ、我が国が重点的に研究することが有意義と認められる研究課題であるか。
- ・日本側拠点機関が主導的役割を果たし、相手国拠点機関と研究交流を行う必要性・重要性が明確であるか。
- ・日本側拠点機関と相手国拠点機関の交流により、学術的価値の高い成果が期待できるか。
- ・これまでの国際研究交流活動及び研究実績を活かし、それを発展的に展開するものであるか。ただし、過去に採択された課題を継承する研究課題については、引き続き支援する必要性が明確であるか。

(2) 募集要項

X その他 の項目について追記等しました。

(5)安全保障貿易管理(海外への技術漏洩への対処)

(6)国際連合安全保障理事会決議第 2321 号の厳格な実施

(10)NBDC からのデータ公開について

(11)動物実験基本指針における外部検証の受検について

(12)ナショナルバイオリソースについて

(3) 様式

注意書きに下記下線部を修正、追記及び削除しました。

A型・B型共通(申請書様式 6 ページ目)

(4) 国際的な研究交流活動の実績および発展性遂行能力

これまでの日本側コーディネーター及び参加研究者の国際的な研究交流活動(本会事業に限りません。)の実績(見込みを含む。)を、本申請課題を通じてどのように発展的に展開するのか記入してください。なお、本申請が過去に本事業に採択された課題と関連性がある場合は、当該課題との相違点を含めて関連性を記入してください。本申請の活動の内容が過去に本事業に採択された課題を継承する場合は、当該課題の目標に対する達成度を記載のうえ、当該課題と本申請との相違点および発展性と、本申請が引き続き支援を受ける必要性を記入してください。

A型・B型共通(申請書様式 12 ページ目)

3.【日本側実施体制】

(1) 日本側拠点機関において、世界的水準の研究交流拠点形成の計画が、当該機関の研究交流活動上、どのように戦略的に位置づけられているか記入してください。なお、申請機関が他制度で機関支援型事業注1の助成を受けている(または見込みの)場合、本申請との関連性があるときには、それらとの相違点も含めて関連性を記入してください。また、過去に本事業で申請機関が受けた助成が本申請と関連性がある場合は、それとの相違点を含めて関連性を記入してください。